

# 雨水の ぼうけん



制作：箕面森林ふれあい推進センター

作／絵：矢放 七海



あまみず

# 雨水のぼうけん



制作：箕面森林ふれあい推進センター

作 / 絵：矢放 七海



なつやす      しょうがくせい      いえ      き  
夏休み、小学生のユウちゃんがおばあちゃんの家にあそびに来ていました。

「おばあちゃん、のどかわいたー。お水みずちょうだい」

「はいよ、どうぞ」

「ゴクッ」



「あれ？このお水みずなんかいつもお家うちで飲のんでるのよりおいしい！

なんでだろう」

「それはね、おばあちゃんちの近ちかくには森もりがあるでしょ？

お水みずがおいしいのは森もりのおかげなんだよ。」

「えっ森もり？どういうこと？」



ちかすい  
地下水

Yahanashi



「このお水はね、もともと森に降った雨水なんだよ。」

「えええ！雨水なのこれ！？」

「森に降った雨が長い時間をかけて森の下を通っていくこと  
で水がきれいになるし、おいしくなるんだよ。」

「おばあちゃんちの水は森を通ってきた地下水を使っている  
からおいしいんだよ」

ユウちゃんはぜんぜんわかりません。

「どうして森を通ると水がおいしくなるの？なんで？」



「そうだね… <sup>じぶん</sup> <sup>あまみず</sup> 自分が雨水になって <sup>もり</sup> <sup>とお</sup> 森を通って、

<sup>いえ</sup> この家にたどりつくまでのぼうけんごっこをしてみましようか。

そしたらそのヒミツがわかると思うよ。 <sup>おも</sup> <sup>そうぞう</sup> 想像してごらん」

<sup>じぶん</sup> <sup>あまみず</sup> 「自分が雨水？おもしろそう！ <sup>かん</sup> こんな感じかな？」



「ちがうちがう。<sup>あまみず</sup>雨水はおちてくるときに

ちりとかで<sup>よご</sup>汚れるから<sup>ふく</sup>服はどろんこだよ。」

「えっ、えっー!？」

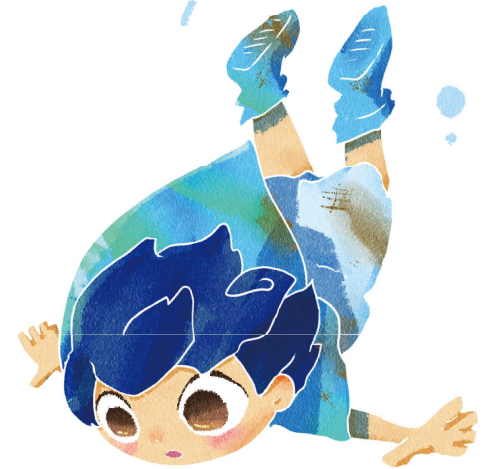
「まあまあ、そんなにおこらないで」



あまみず  
さあ、雨水になったユウちゃんのぼうけんの始まりです。

あめ ふ  
雨が降ってきました。

さいしょ くも もり  
最初にユウちゃんは雲から森におちていきます。

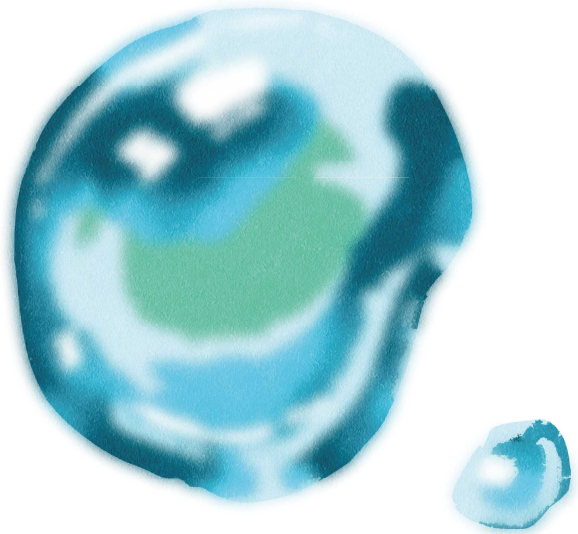




<sup>もり</sup>  
森におちると、

<sup>は</sup> <sup>うえ</sup> <sup>と</sup>  
葉っぱの上でいきおいよく飛びはねて

<sup>つち</sup> <sup>なか</sup>  
土の中にしみこみました。







YAHANASHI



Yahanashi

Z z z

さあ、ここからは地中のたんけんです。ユウちゃんはあたりを見回しました。

「あれ、土つちって砂すなのかたまりだと思ってたんだけど、

すきまがたくさんあるんだね。」

「そう、森もりの土つちは根ねっこが入りこんだり、いろんな生きい物ものが

す住んでいるおかげで、すきまがたくさんあるの。」

ユウちゃんはすきまをジャングルジムのようにつたいながらさらに下へした

お降りていきました。



すこ お やす  
少し下りたところで、ユウちゃんは休むことにしました。

おばあちゃんが言いました。

もり つち  
「森の土にすきまがあるおかげで、

おおあめ ふ こうずい  
大雨が降ってもすぐに洪水になることはないの。

みず  
すきまに水がたまるからね。だから森は緑のダムって言われてるんだよ。

じぶん ふく み  
そういえば、ユウちゃん、自分の服をよく見てごらん？」

「えっ？」

Before まえ

YAHANASHI

あと  
After

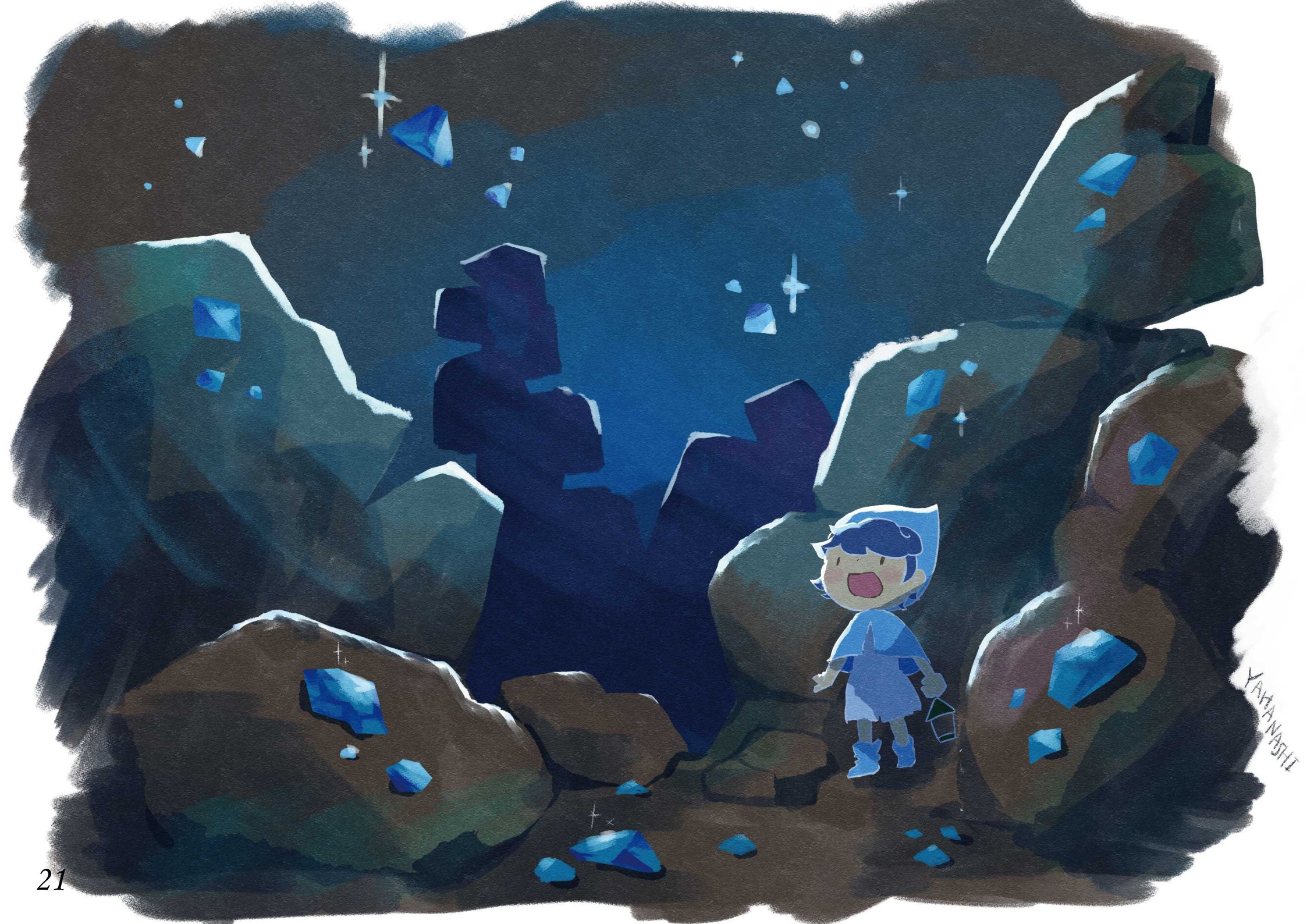


「あれ、いつのまにか<sup>よご</sup>と<sup>からだ</sup>汚れが取れて、体がキレイになってる?!

「すきまを<sup>とお</sup>ぬ<sup>よご</sup>けていくあいだに<sup>と</sup>汚れがだんだん取れていくんだよ。

<sup>もり</sup> <sup>みず</sup>  
森は水をキレイにもしてくれるのよ」





YAMAHASHI



キレイになったユウちゃんは、

さらに<sup>ちちゅう</sup>地中の<sup>ふか</sup>深いところまで<sup>き</sup>来ました。

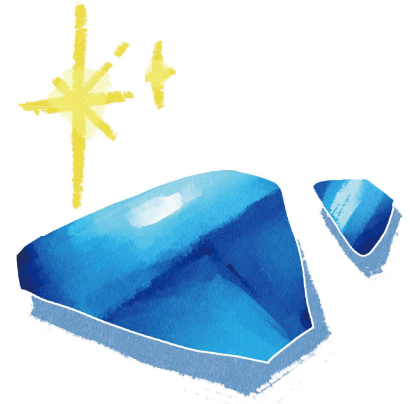
<sup>なに</sup>何かがキラキラと<sup>ひか</sup>光っています。

「わあ！お星<sup>ほし</sup>さまみたい。あの<sup>ひか</sup>光ってるのは<sup>なに</sup>何？」

「ミネラルだね。これがほどよくとけていると<sup>みず</sup>水がおいしくなるんだよ。

あんたも<sup>も</sup>持ってお<sup>かえ</sup>帰り。」

ユウちゃんはミネラルのかけらをポケットにつめこみました。





ユウちゃんはずっと地中深くまで下りていきました。

すると、水が集まって流れているところに出ました。

「流れるプールだ！」

「地下水道に出たようだね。」

しばらく泳いでいたら、ばあちゃんちに帰れるよ。

「流れに乗って帰ってきなさい。」

「はい」



ユウちゃんはくら暗いちかすいどう地下水道ながを流れていきます。

「ユウちゃん、もり森はみず水をためておいてくれて、きれいにしてくれて、

さらにおいしくしてくれることわかったかい？」

「うん！もり森ってすごいね！」

ひかり光みが見えてきました。

ユウちゃんはひかり光のほうさす方てへ手をのばしました。



ドボン！ユウちゃんはじゃぐちから

いきおいよく<sup>で</sup>出て

ガラスコップの<sup>なか</sup>中に入りました。

まどから<sup>あか</sup>明るい<sup>ひかり</sup>光がさしこんでいます。

おばあちゃんの<sup>いえ</sup>家につくことができたようです。





「おばあちゃん、<sup>あまみず</sup>雨水になってぼうけんするのめっちゃ<sup>たの</sup>楽しかったよ。

またのどかわいちゃった。お水<sup>みず</sup>ちょうだい。」

「はいはい、どうぞ」

「ゴクッ」

お水<sup>みず</sup>はすっきりとおいしくてユウちゃんはにっこりしました。



## 「雨水のぼうけん」

制作 林野庁 近畿中国森林管理局  
箕面森林ふれあい推進センター  
作 / 絵 矢放七海

この絵本は森林環境教育用に制作した紙芝居を絵本形式にしたものです。

森林が雨水を貯え、きれいな水を育む仕組みを楽しく学んでいただければ幸いです。

紙芝居『雨水のぼうけん』デジタル版はセンターのホームページでダウンロードできます。

御自身や御家庭内での利用を除き、学校教材や森林環境教育教材等として利用される場合は、  
お手数をおかけしますが、あらかじめ箕面森林ふれあい推進センターのアドレスまで  
利用の目的や内容等について連絡をお願いします。

林野庁近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センター  
ダイヤルイン：050-3160-6745

FAX：06-6881-2055

メールアドレス：kc\_fureai@maff.go.jp



紙芝居『雨水のぼうけん』  
デジタル版



林野庁 近畿中国森林管理局  
箕面森林ふれあい推進センター